

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	南部地域療育センターそよ風	公表日	2026年3月 25日
------	---------------	-----	-------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	4	・置があることで活動スペースの区切りになっている・外での活動や遊戯室、屋上など活用している・個別のクールダウンする場所として遊戯室やテラスを使っている	施設基準は満たしているが、子どもの状況に応じた部屋の使い方を引き続き検討していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	8	・計画的な振休や有休の取得が進み、欠席等による他クラスからの応援及びパート配置基準以上に行っている	・子どもの状況や取り組みにより、環境や職員配置をします。また、職員の定着により、子どもへの支援が充実するよう、働き方の改善と力量アップに繋がっていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	4	・活動スペースを区切るなどをし、環境の視覚支援を実施している。・段差などをなくすようにマットや段差を削るような工夫をしている	・引き続き修繕計画を立て、実施していきます。・おもちゃや遊具の点検をすすめ、子どもたちにわかりやすい保育環境づくりをすすめます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	5	・子どもの姿、活動内容に合わせて環境調整を行っている・日々の環境整備等で衛生を保つようにしている	・ハウスキーパーさんとともに安全で清潔な環境の維持に努めます・出入口のマットを定期的に交換します
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	4	・遊戯室や屋上、テラスなどを使用している	・個別にクールダウン等できる場所、エリアを分けるなど子どもたちに配慮した活動や空間の使い方を検討します
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18	2	・日々の保育や行事の振り返りを通し次に生かすようにしている	・日々の働きを通しPDCAを意識し、取り組み方や改善策を職員からの意見を集約します
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20		昨年度の結果を職員間で周知し、対応改善に努めている	・引き続き親の会からの要望アンケートを職員間でも議論し、内容及び業務改善に繋がります
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	1	・面談等の実施で把握、改善に努めている・朝礼、コードモンで周知検討している	・引き続き、面談及び日々の業務の中で意見を聞き取り、その内容を業務改善に繋がります
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	18	2	・第三者評価の会議を実施し、検討、改善に努めている	・引き続き、第三者による外部評価の場を設け、その意見を踏まえ、業務改善につなげます
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	20		・研修の機会を設けている(OJT/職場内/歩人)・研修の内容も経験年数等も考慮し毎年工夫されている・研修が保障されている	・引き続き法人研修及び職場内研修の機会を保障し、職員の資質向上に繋がります
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18	1	・プログラム作成、公表はきちんとされている	・引き続き子どもの姿を丁寧に捉え、適切な支援プログラム作成をします。また、新規職員が支援プログラム作成を理解できるように研修の実施をします
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	20		・計画作成だけでなく、日々保護者支援(連絡ノート・アセスメント・親子の状況)に繋がっている	・アセスメント力を高める研修及び研鑽を積み、支援計画に繋がられるようにしていきます。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20		・自発管含め担当者にて意見を出し合い方向の調整がされている・担当者が親子の状況より丁寧に議論され作成されている	・アセスメント力(子どもの姿と保護者ニーズより、子どもの願いを読み取る力)を高める研修及び研鑽を積み、支援計画に繋がられるようにしていきます。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	19	1	・職員間で共有されている・いつでも計画を確認、見直しをし、支援をすすめるように努めている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	17	3	・アセスメントツールと生活やあそびでの姿を客観的に捉えるようにも努めている・リハ連携の中でも共有のツールを使って子どものとらえに繋が	・インフォーマルなアセスメント力を高めています
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18	2	・すべての項目を支援内容に盛り込み取り組んでいる	・現在、左記項目について網羅した支援計画を作成してはいるが、より移行支援及び地域支援・地域連携を計画、反映に努めます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17	3	・クラス担任間だけでなく、多職種、ペアクラスなどにも広く相談しながら立案に繋がっている	・引き続き、活動プログラムを多職種で検討し立案につなげます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	19	1	・子どもによっては、繰り返しの中で楽しさにつながる子もいる。意図的に繰り返しあそぶこともあるが、少しずつ変化させ、楽しさが持続するように努めている・季節に合わせた取り組みも積極的	・子どもたちの経験や体験が広がるような、季節の行事も積極的に取り入れすすめます。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	19	1	・子どもの姿から集団だけでなく、個別で楽しめるも支援も盛り込んでいる	・必要に応じて、個別活動やプログラムを行いながら支援をすすめます。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	4	・毎日揃わない実態もあるが、前日か数日前までに、数日間の内容や役割分担について確認実施し、ケース等で次の方向を決めている	・
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	8	ケースが保障できるよう体制に組み込む努力をしている・日々の支援中に子どもの姿でよかったことや気づいたことなどを声に出して共有している	・ケースでは職員間でその日を振り返り、気づいた点を共有します。・ケースが実施できないときは、クラス記録及び日誌に記載し、職員間で共有する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	4	週案、日誌に必ず記録を残し職員間で共有している・学年会にて振り返り職員間で共有している	・引き続き日誌、個人記録を活用し日々の療育内容及び支援内容の検証改善に努めます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	19	1	・計画変更が生じた場合、保護者の意向も把握し、支援内容を見直している・半年に1回見直し計画を作成している	・引き続き半年に1回の支援計画作成に向け、保護者の意向も伺いながら進めていきます。見直しが必要な場合は適宜対応します。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	19	1	・子どものことを理解している職員が会議に参加し、その内容は関係スタッフに数日中に共有している	・引き続き子どもの状況、家庭状況を理解した職員が会議に参加し、丁寧な支援作成に努めます
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20		・必要に応じ、関係機関と連携し支援を行えるよう努めている	・
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19	1	・移行に伴う書面、訪問での引継ぎを、保護者の確認のもとに実施している。必要に応じ、事前に情報の共有と総理解を目的とし会議や連携している	・引き続き移行に向けた支援内容の情報共有と相互理解をすすめます
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20		・サポートブックの活用のため、保護者が作成し、伝えられるように支援している・見学の機会を設け必要時には情報共有と相互理解に努めている	・引き続き移行に向けての支援をすすめます。・必要に応じ、支援の情報共有と相互理解をすすめます
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	17	3	・合同研修や実践検討、行事の参観など情報の共有や課題整理及び連携をしている	・他のセンターとの研修や見学実習等の機会を設けていきます。・地域の事業所等からの見学及び参観を通して連携を深めていきます。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	20		・研修を実施し、子どもの姿を多角的に捉える機会を設けている	・引き続き研修や専門機関等からの助言等を受けながら幅広い視点を持てるようにしていきます。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	20		・参加し、顔の見える関係づくりを始めている	・センターの役割として、引き続き継続して参加していきます。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	13	6	・法人内の保育園と部分的に交流をしている	・引き続き園内の子どもの状況を見ながら検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	18	1	・親子登園日には1日にの振り返り等を通し、子どもの姿を保護者と確認している・コドモンにて子どもの姿を共有し共通理解に繋げている	・子どもたちの願いに寄り添った姿として保護者に伝えていきます。伝わりづらい場面や子どもの姿については、写真や懇談などを利用し共通理解をすすめています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20		・保護者向けの研修を年間通して実施している	・保護者のニーズに沿った研修や情報提供を実施していきます	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	20		通園見学及び1日入園、契約説明時に実施している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20		子ども及び家族の意向を組み込んだ計画を作成している	・今後も子どもの姿、家族の意向も聞きながらよりよい支援に繋げていきます
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	20		懇談を実施し、必要なことを確認している	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20		・家庭状況等気になることが生じた時には、バス添乗を変わるなど直接話すようにしている・聞き取った内容に対し、具体的な回答や提案をし、こたえるようにしている・必要時には即対応を心掛けている	・今後も保護者の相談や悩みに対し迅速かつ適切な対応ができるよう努めます
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20		・きょうだいプログラムの実施・おやじのプログラムで交流実施・きょうだいや祖父母も参加できる行事の実施	・引き続き家族支援及びきょうだいプログラムの充実に努めます
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20		・必要時に迅速に対応(懇談・家庭訪問等)	・保護者の相談等に対応できるような研修や技量の向上に努めます
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	20		・園だより、行事のお知らせ、園からのお知らせ等コドモンでの発信をしている	・引き続き、コドモン等を活用し、保護者への発信していきます

非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	2		引き続き、個人情報の取り扱いについて職員間で留意し理解を深めていきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20		バザーや夏まつりなど地域の方も参加できる法人の取り組みを実施している	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19	1	防災訓練等で、マニュアルの見直しをしている・新たに見失いマニュアルを職員間で見直した	・発生を想定した訓練の実施及びマニュアルの策定及び見直しをします。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20			・家族や地域も巻き込んだ訓練を法人での取り組みへの参加も検討していきます。・職員への周知をすすめます
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	20		発作等状況は保護者より書類提出を参考にマニュアル作成し、確認している。子どもの状況が変わった時には見直ししている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	20		アレルギーの書類の提出により、検討しマニュアル作成をし、確認している。子どもの状況が変わった時には見直しをしている	正しいアレルギーの知識を学ぶ研修の実施（食品表示の見方など）市対応できるようにしていきます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	19		・屋外プール等の実施に対し職員間で共有し、実施	・職員間で支援に繋がられるよう安全管理に努めます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20		・記録の記入及び、報告を朝礼で実施し、職員間で共有している	・引き続き事案が発生した際は、法人内の検討委員会に報告し、対応します
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20		・研修を実施し、いつでも確認できるようにクラスでも保管している	・引き続き研修を実施し、適切な対応に努めます	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	19	1	・個々に説明し家族の同意を得ている。		